

EPSグループの軌跡²

中国を中心とした海外展開

第2部では、直近10年間を取り上げます。

この10年間は新薬開発のグローバル化が加速し、臨床試験などのアウトソーシングが多国間で進められてきました。

EPSグループは、1999年に日本のCROとして初めて

中国にグループ会社*を株式譲渡で取得するなど、

早くから海外事業を推進してきた強みを最大限に発揮。

高まる需要に応じていくために、

中国を中心に積極的な海外展開を図っています。

※ システム開発とCRO事業を担う日恒(北京)国際信息技术有限公司は、2001年に社名変更して往來軟件(北京)有限公司となる



2007

●EPSインターナショナルを設立

海外への臨床試験のアウトソーシング需要が高まるなか、海外のCRO事業を統括する「EPSインターナショナル株式会社」を設立。海外のCRO子会社、上海日新医薬発展有限公司を同社の傘下に集約し、国内外の製薬会社の要請にスピーディに対応できる体制を整えました。



300

200

2003

●EPSシンガポールを設立

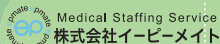
新薬の世界同時開発の動きが活発化する時代の流れに対応して「EPSシンガポール」を設立。同社を通じて、東南アジア・オセアニア地域におけるCRO事業・コンサルティング業務をスタートさせました。

2005

●イーピーメントを発足 ●イーピーメイトを設立

SMO事業とサイトサポート業務をそれぞれ担う2社*を合併し、日本トップクラスのSMOとなる「株式会社イーピーメント」を発足。また「株式会社イーピーメイト」を設立して、イーピーメディカル株式会社からスタッフ派遣業務を移管し、専門性を高めました。

※ 株式会社イーピーリンクと株式会社ミント



2006

●東証一部に上場

JASDAQ上場から5年を経て、9月に東証一部に上場しました。



東証一部に上場



●イートライアルを設立

これに先立つ3月には、EDC(治験データの電子化システム)を提供する「イートライアル株式会社」を設立し、治験業務におけるIT活用を事業化しました。



100

0

	2003年	2004年	2005年	2006年
■ 売上高	89億円	109億円	130億円	152億円
■ 従業員数	846人	1,023人	1,240人	1,375人

2008

●益新(中国)有限公司を設立

世界経済が未曾有の危機に陥り、多くの企業が海外事業の規模を縮小するなか、先行投資を決定して12月に100%子会社「益新(中国)有限公司」を設立。市場成長性の高い中国における事業拡大を目指して統括機能を強化しました。



益新(中国)有限公司

2010

●中国で医薬品販売事業を開始

「益新(中国)有限公司」が、インフルエンザ診断キット(商品名:エスブライン)の日本から中国への輸入販売を開始。EPSグループとして初めての医薬品販売事業をスタートさせ、今後、さらに業容拡大を目指していきます。



「エスブライン」発売記念会

2009

- 中国事業を本格的にスタート
- 新生ファーマネットワークが活動開始
- メディカルラインを子会社化

「益新(中国)有限公司」がCRO、ソフトウェア開発などに関わる事業の稼働準備を進める。一方、国内ではグループ体制を強化。「株式会社ファーマネットワーク」と当社の連結子会社「イーピーメディカル株式会社」の合併によって国内3位のCSOとなった新生「株式会社ファーマネットワーク」と、医薬・医療向けコールセンター業務を担う「株式会社メディカルライン」をEPSグループに迎えました。



2007年
179億円
1,595人

2008年
211億円
1,905人

2009年
235億円
2,139人

2010年
294億円
2,802人

2,400

1,800

1,200

600

0